

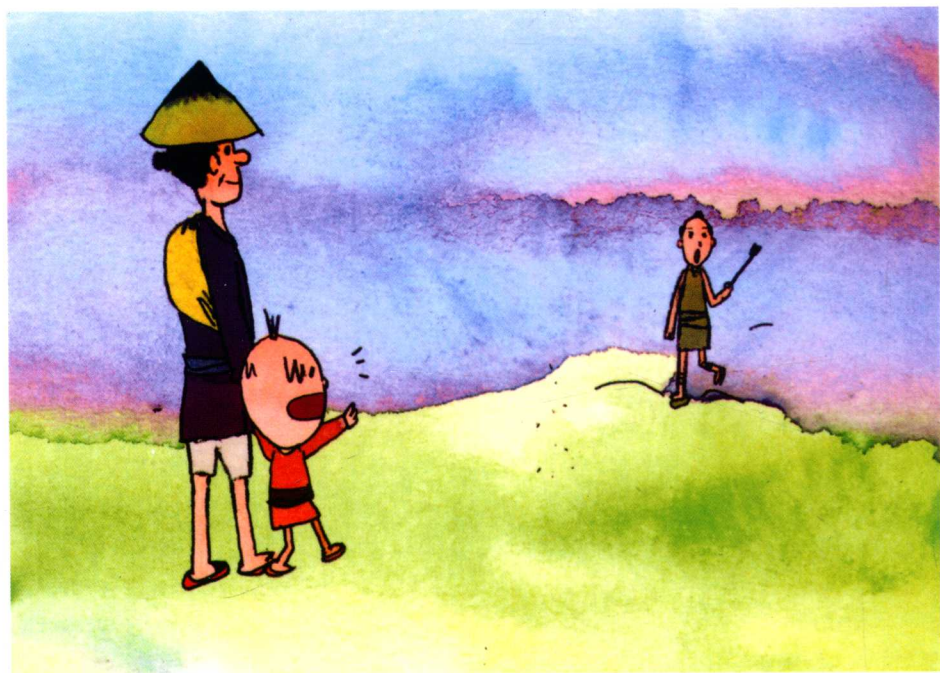
外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 **2** ^{ちょう じゃ}7 わらしべ長者



日本NPO法人 日本語多読研究会 主编
桥爪 明子 (日) 改编
姊川 卓 (日) 插图



外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 **2** **7** わらしべ^{ちょう じゃ}長者

日本NPO法人 日本語多読研究会 主编
桥爪 明子（日） 改编
姊川 卓（日） 插图

外语教学与研究出版社
北京

京权图字：01-2008-1935

© Originally Published by ASK Co., Ltd., Tokyo Japan

图书在版编目(CIP)数据

外研日语分级读库. Vol.2. 2⑦ / 日本NPO法人日本語多读研究会主编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2008.9
ISBN 978-7-5600-7850-2

I. 外… II. 日… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 151787 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 刘宜欣

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880×1230 1/32

印 张: 0.75

版 次: 2008 年 11 月第 1 版 2008 年 11 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-5600-7850-2

定 价: 27.90 元 (全五册)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 178500001

日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

やさしいものからたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいでしょう。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

ある村に、一人の男が住んでいました。男の名前は佐吉でした。

佐吉は、お金がありませんでした。食べるものも、着るものもありませんでした。

——私は、毎日、一生懸命働いている。でも、お金がない。困ったなあ——

佐吉は、いつも、そう思っていました。





ある日、佐吉は、お寺に行きました。

そして、観音様の前に座って言いました。

「観音様、私は、毎日、一生懸命働いていますが、

食べるものも

着るものもありません。

おなかがすいています。

とても疲れています。

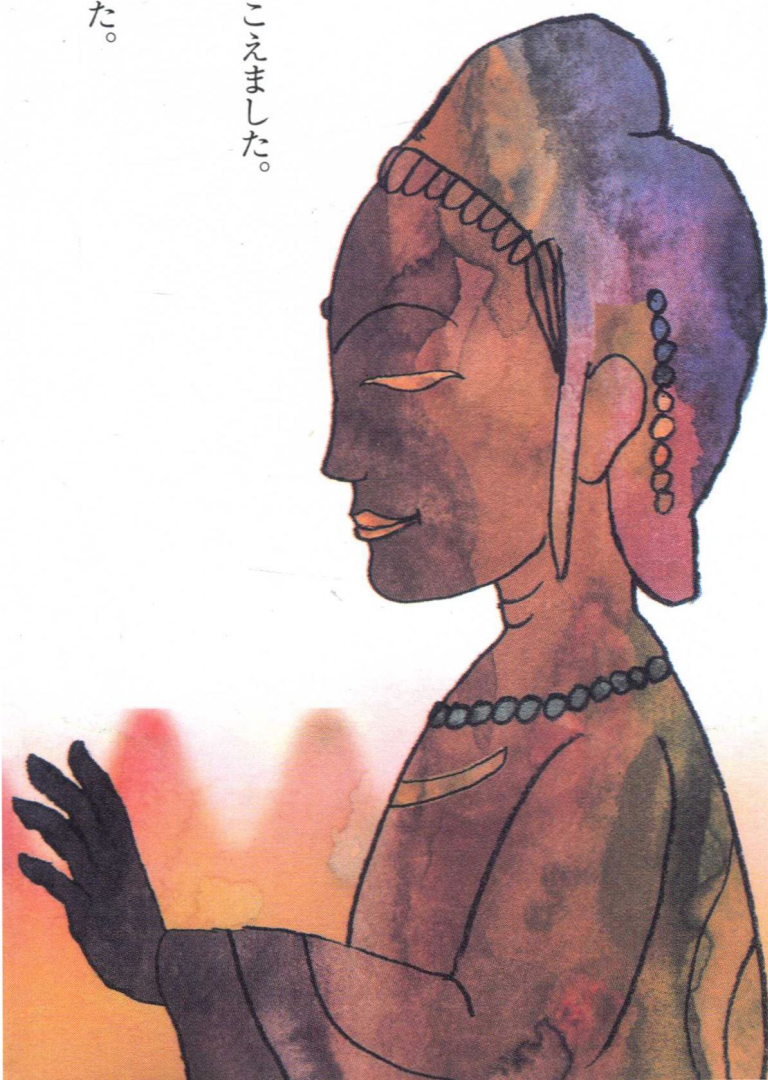
助けてください。

お願いします、観音様」

すると、観音様の声が聞こえました。

「佐吉、よく聞きなさい」

佐吉は、びっくりしました。



観音様は言いました。

「これから、あなたは、何かを拾うでしょう」

「何かを拾う？」

「そうです。」

そして、拾ったものは、捨てないで

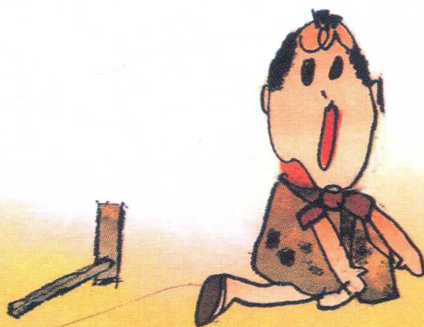
大切に持っていないさい」

佐吉は観音様に、

「わかりました、観音様。」

拾ったものは、大切に持っています」

と言いました。





佐吉は、うれしくなりました。

そして、お寺を出ました。

そのときです。

ばたん
ボタン！

佐吉は、お寺の前で転びました。

「あつ、痛い！」

佐吉は立ちました。手に何か持っています。
見ると、それは、一本のわらしべでした。

「わらしべか……。でも、観音様は、

『拾ったものは、捨てないで大切に

持っていなさい』と言っていたなあ」

佐吉は、そう言って、

わらしべを持って、歩いていきました。



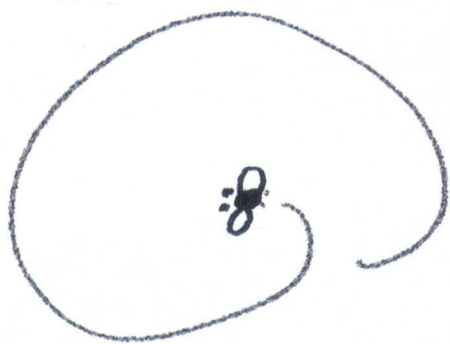
少し行くと、虫が飛んできました。

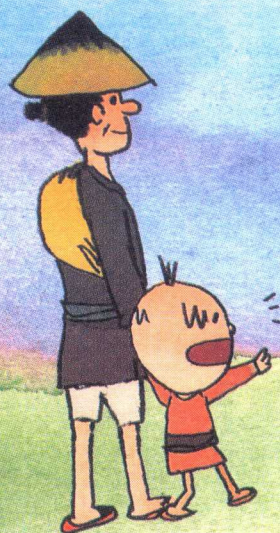
虫は、佐吉の頭の上を飛びました。

「うるさいなあ。嫌な虫だ」

佐吉は、虫を手で取って、

わらしべの先につけました。





そのわらしべを持って、

また少し行くと、向こうから、

小さい男の子とお父さんが

歩いてきました。

男の子は、虫のついた

わらしべを見て、

「わあ、おもしろい。

あれが欲しい、あれが欲しい」

と言いました。

お父^{とう}さんは、佐吉^{さきち}に、

「すみませんが、そのわらしべをください。」

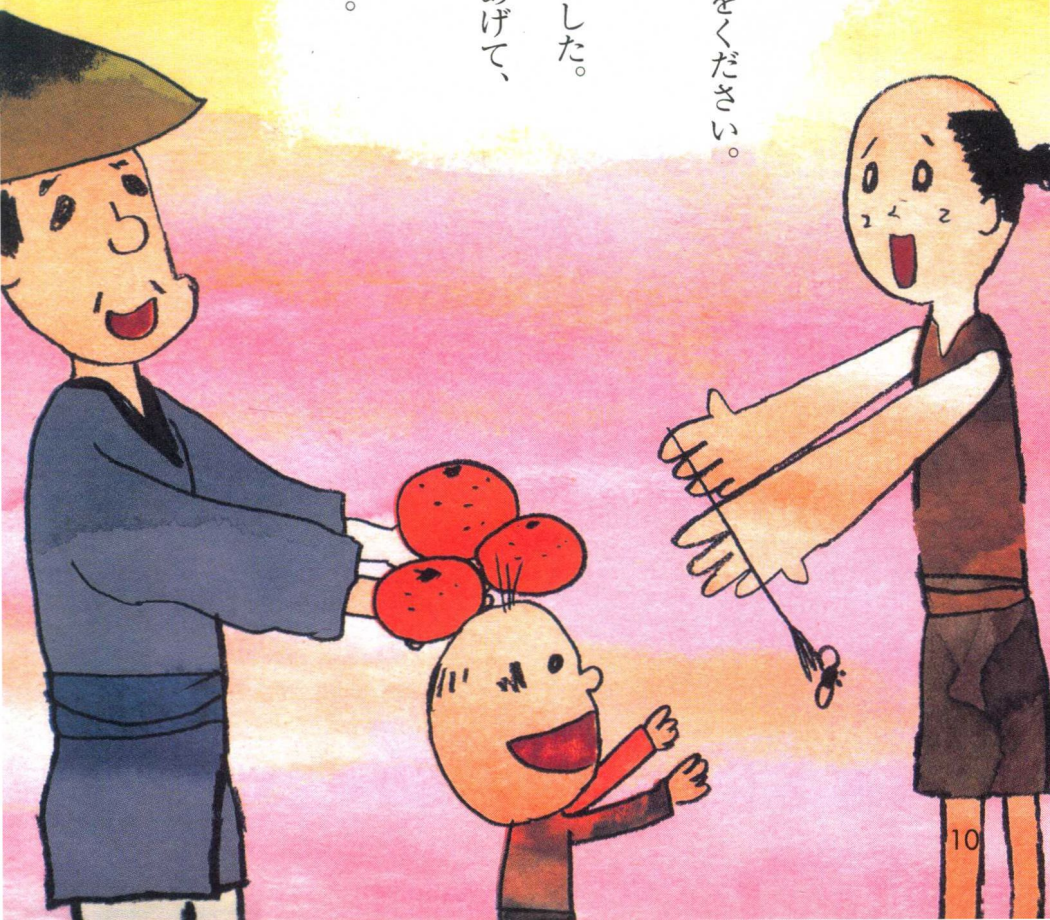
このみかんをあげますから」

と言^いって、みかんを三^{みつ}つ出^だしました。

佐吉^{さきち}は、わらしべを男^{おとこ}の子^こにあげて、

みかんをもらいました。

そして、また歩^{ある}いていきました。





少し行くと、女の人^{おんなひと}が二人^{ふたり}、

木の下^{きした}に座^{すわ}っていました。

いい着物^{きもの}を着^きた娘^{むすめ}とお母さん^{かあ}でした。

お母さん^{かあ}は、娘^{むすめ}に聞^きいています。

「大丈夫^{だいじょうぶ}? 大丈夫^{だいじょうぶ}ですか?」

娘^{むすめ}は、何^{なに}も言^いいません。

それを見て、佐吉は、お母さんに聞きました。

「どうしたんですか？」

お母さんは答えました。

「娘は、とても疲れて、歩くことができないんです」

佐吉は、持っていたみかんを三つ、

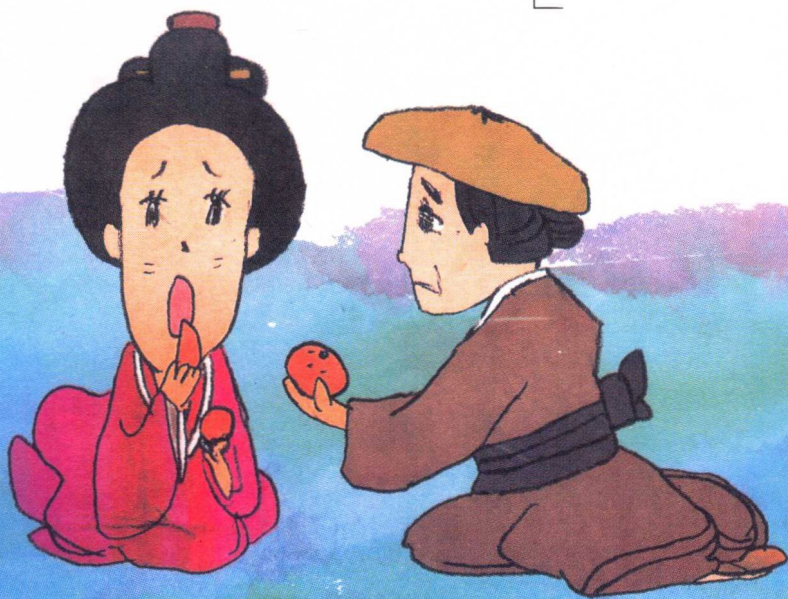
娘に渡して言いました。

「これを食べてください。元氣になりますよ」

娘は、みかんを食べると、

「ああ、おいしい」

と言いました。そして、すぐ元氣になりました。



お母^{かあ}さんは、とても喜^{よろこ}びました。

「ありがとうございます。これをどうぞ」

お母^{かあ}さんは、そう言^いって、きれいな布^{ぬの}を佐吉^{さきち}にあげました。



さきち、その布ぬのをもらって、

また歩あるいていきました。

すると、道みちに馬うまが倒たおれていました。

その横よこに、男おとこが立たっています。

「どうしたんですか？」

さきち、その男おとこに聞ききました。

